2014年度環境活動レポート

対象期間：2014年7月～2015年6月

エコアクション21
認証番号0004315

マトヤ技研工業株式会社

２０１５年7月１７日発行

目　次

１．経営理念 ・・・・ ３
２．環境方針 ・・・・ ４
３．組織の概要 ・・・・ ５
４．認証・登録の対象組織・活動 ・・・・ ７
５．2014年環境目標とその実績・評価 ・・・・ ８
６．2014年環境目標の取り組み計画と評価 ・・・・ ９
７．2015年度の取り組み ・・・・ 10
８．環境関連法規等の順守状況 ・・・・ 11
９．代表者による全体の見直しと評価 ・・・・ 12
１０．環境活動の紹介 ・・・・ 13

1. 経営理念

- 社会的信頼と責任

  会社を取り巻く人々と誠意を持って協調し、お客様の視点で考え、お客様に安心で安全な機械装置を提案し、社会的信頼と責任を果たします。

- 会社の発展

  永続的発展を第一とする健全経営を推進し、業界の先頭に立ち、絶えず新技術を創造し、社会から支持され、信用される企業経営に努めます。

- 社員の幸福

  社員の幸福の達成に努め、社員は産業人として絶えず研鑽に努め、創意工夫と進取挑戦の精神で仕事に取り組みます。

2. 環境方針

マトヤ技研工業株式会社

環 境 方 針

人類の利便性を求める経済活動が一方では地球環境の破壊に繋がり、人類の存在を脅かしています。
マトヤ技研工業は、「低炭素・循環型・自然共生社会」を考慮し、省力化・環境配慮機器の開発、製作、販売事業、並びに有益な社内環境活動を通じ、持続可能な社会環境を追及してまいります。

1. 事業活動全般における購入資材のグリーン調達、電力・燃料等のエネルギーの効率利用や水資源の有効利用による環境負荷及びコスト削減を追及し、最適な企業活動を目指します。
2. 省力化機器メーカーとして、お客様に省力化や環境配慮商品を供給し、労働負荷や環境負荷並びにコスト軽減に貢献する企業を目指します。
3. 業務及び製作工程における一般・産業廃棄物の発生を抑制し、発生物は資源への還元を目指します。
4. 当社周辺の緑豊かな地域に鑑み、化学物質の適正保管と使用、排出抑制を行なうと共に生態系への影響の少ない物質への切替えに取り組みます。
5. 地域に育まれる企業として、地域周辺の環境保全に全社員で取り組みます。
6. 環境保全活動をシステム的に運営し、定期見直しを行い、継続的改善・汚染の予防を積極的に実施します。
7. 環境関連法規及び同意したその他の要求事項を順守する等コンプライアンスの向上を目指します。
8. この環境方針は、当社の環境活動の指針として全従業員に周知し、一般の方に公開します。

制定日：2008 年6 月1 日
改定日：2013 年7 月1 日
代表取締役 益留 福一

3. 組織の概要

（1）名称及び代表者名

マトヤ技研工業株式会社
代表取締役　益留　福一

（2）所在地

本　　社　〒899-8608
鹿児島県曽於市末吉町南之郷3050-6
宮崎工場　〒885-0063
宮崎県都城市梅北町11267
大阪営業所　〒561-0853
大阪府豊中市服部南町1-4-10
東京営業所　〒121-0011
東京都足立区中央本町4-15-13

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者　豊増　敏夫（取締役専務）
環境事務局　　益留　房代（取締役総務部長）
連絡先　　TEL　0986-76-0018
FAX　0986-76-2729
E-mail　info@matoya.com

（4）創　　業　1985年6月

益留、豊増、山内　の三名で創業。
それぞれの頭文字からマトヤと名付ける

（5）事業内容　自動省力機器設計・製作および販売

2015年6月　東京ビッグサイト
のFOOMA展に出展いたしました。

各種団体の工場見学やインターン
シップの受け入れも行なっています。

（6）事業の規模（2014年度：2014年7月～2015年6月）

売上高　605百万円

従業員	本社	大阪営業所	東京営業所
	39名	3名	2名

（7）当社のプロセス

開発・発明 ⇨ 設計 ⇨ 加工 ⇨ 組立 ⇨ 据付工事

食肉・食品関連機械と電子部品生産システム自動車部品・クーラント関連機械の3部門　特許・実用新案は　23　件

＜主な製品＞

4. 認証・登録の対象組織・活動

適用範囲：マトヤ技研工業株式会社 本社・宮崎工場
大阪営業所・東京営業所

事業範囲：自動省力機器設計・製作及び販売

2015年4月1日入社式

代表者
代表取締役　益留　福一

環境管理責任者
取締役専務　豊増　敏夫

環境事務局
取締役総務部長
益留　房代

※MIとは、matoya improvement の意味。マトヤの改善

EA21・MI委員会
委員長　豊増専務
事務局　益留部長

- 設計部
- 開発課
- 製造部
- 総務部
- 営業部
  - 本 社
  - 東京営業所
  - 大阪営業所

東京営業所と大阪営業所は、電力は非管理の為、自動車燃料等の削減のみ適用する

5. 2014年度　環境目標及びその実績・評価

1．二酸化炭素排出量の削減　　目標　　実績
　① 電力の削減：基準年比　　△1%　→ △7.5%
　② 燃料の削減：基準年比　本社　　△2%　→　9.9%
　　東京　　△1%　→　△1.6%
　　大阪　　△1%　→　△9.3%
2．一般廃棄物の削減：リサイクル率　　65%　→　66 %
3．産業廃棄物の削減：リサイクル率　　89%　→　95 %
4．水使用量の削減　：基準年比　　△3%　→ △31 %
5．化学物質の低減　：化学物質の保管管理及び保管場所の徹底清掃
6．環境配慮製品の開発及び販売促進
　①クーラント製品及び遠心分離機等
　② 業務用　光触媒環境浄化装置
　　2014年度　販売目標 24台　実績59台
7．地域清掃活動
　　2014年度　目標 42回　実績 45回
8．購入資材・事務用品のグリーン購入
　　2014年度　目標 72%　実績　79%

東京営業所と大阪営業所では、電力と水資源と廃棄物は、共有の為管理できませんので、自動車の燃料CO_2の削減のみ行いました。

			基準年度	2014年度 2014年7月～2015年6月		
			2013年度	目標	実績	評価
売上高		売上高百万円	502	―	605	―
電力CO_2排出量　※2		購入電力kWh kg-CO_2	98,645 60,371	97,658 59,767 △1%	91,265 55,854 △7.5%	○
燃料CO_2排出量	本社	kg-CO_2	34,739	33,696 △3%	38,169 9.9%	×
	東京	kg-CO_2	14,377	14,234 △1%	14,147 △1.6%	○
	大阪	kg-CO_2	6,535 ―	6,470 △1%	5,977 △9.3%	○
一般廃棄物排出量		リサイクル率	※1　63%	65%	66%	○
産業廃棄物排出量		リサイクル率	※1　87%	89%	95%	○
水資源排出量		m^3	※1　422 ―	409 △3%	283 △31%	○
化学物質の適正管理と清掃		回	24	24	24	○
環境配慮製品販売量		台	23	24	59	○
地域清掃活動		回	40	42	45	○
事務用品グリーン購入		%	70	72	79	○

評価は、○は達成、×は未達成

※1）基準年度：2009・2010・2011年度実績の平均値です
※2）購入電力のCO_2排出係数は、九州電力の平成24年度実排出係数0.612kg-CO_2/kWhで算出しています

６．2014年度 環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた　○できた
△あまりできなかった　×できなかった

取り組み計画	達成状況	評価
電力による二酸化炭素排出量の削減		
冷房温度28℃設定	◎	本社組立場の電灯を2/3　LEDに交換しました。 デマンドは、今年度、一度も警報が鳴らなかったです。これもみんなの節電の意識が高かったことでしょう。
暖房温度の18℃設定	◎	
不要休憩時間照明の消灯	◎	
OA機器のこまめOFF	○	
エアコンフィルタの定期清掃	○	
電灯のLEDへの交換	◎	
断熱フィルム	○	
自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減		
急加速発進の抑制	◎	営業車1台を、ガソリン車からクリーンディゼル車に買い替えました。
冷暖房の控え目使用（27℃）	◎	
買換え時はエコカーを購入する	◎	
一般廃棄物の削減		
裏紙利用	◎	常に、みんなが意識して、削減に取り組んでいます。 一般廃棄物引き取り業者のリサイクルの取り組みの協力にも感謝です。
両面印刷コピーの徹底	◎	
ミスプリントを減らす	○	
雑誌カタログ段ボールの再生利用への徹底	◎	
シュレッダー廃紙のリサイクル化	◎	
納入業者へ段ボールの引き取り依頼	○	
産業廃棄物(廃プラ）の削減		
委託処分廃棄物の削減	△	工事で発生した産廃は、業者の協力で、リサイクル処理がされました。
工事での産廃の分別徹底	◎	

取り組み計画	達成状況	評価
節水		
雨水の有効利用（洗車等）	◎	組立場のトイレを節水型に変更する予定は、新工場建設の為、延期になりました。
節水型トイレへ変更	×	
化学物質の低減		
化学物質の保管管理及び清掃	◎	毎月、キチンと管理も清掃も行って、在庫を増やさない努力をしました。 塗装場に、廃塗料ブースを設置しました。
塗装場清掃徹底1回/月(年12回)	◎	
在庫管理を行い在庫を減らす	○	
廃塗料ブースの設置		
製品への環境配慮		
クーラント製品等の販売	◎	マグネットコンベアーは順調に売れました。 光触媒も営業を続けています。
業務用光触媒環境浄化装置の販売	◎	
社会貢献		
公民館の清掃	◎	毎週水曜日の掃除の日に、協力し合ってきれいにしています。
周辺道路の清掃	◎	
購入資材・事務用品のグリーン購入		
事務用品グリーン購入対象品の購入	○	事務用品は、グリーン購入は、実行できていますが、購入資材に関しては、まだ実行は出来ません。
購入資材の環境配慮	×	
省エネ性能の高い電気製品の購入	△	
エコカーの購入	◎	
クールビズ・ウォームビズの制服の購入	◎	

7. 2015年度の取り組み

(1) 2015～2017 年度環境目標

東京営業所と大阪営業所の目標は
①環境方針等の掲示や環境活動レポートやマニュアルの設置そして定期的な環境学習
②燃料CO_2排出量の削減の取組を行います。

宮崎工場の目標は
①電力CO_2排出量と水の使用量の調査を行います。

項目 ＼ 年度			基準値	2015年度目標 2015年7月～2016年6月	2016年度目標 2016年7月～2017年6月	2017年度目標 2017年7月～2018年6月
電力CO_2排出量 （※）	本社	kg-CO_2 前年度比	2014年度 55,945	55,386 △1%	54,826 △2%	54,267 △3%
燃料CO_2排出量 本社、東京・大阪営業所	本社	kg-CO_2 前年度比	2014年度 38,169	37,787 △1%	37,406 △2%	37,024 △3%
	東京	kg-CO_2 前年度比	2014年度 14,147	14,006 △1%	13,864 △2%	13,723 △3%
	大阪	kg-CO_2 前年度比	2014年度 5,977	5,917 △1%	5,857 △2%	5,798 △3%
一般廃棄物リサイクル率		%	3ヵ年平均値 66	67	67	67
産業廃棄物リサイクル率		%	3ヵ年平均値 91	92	92	92
水資源排出量		m^3	3ヵ年平均値 301	298 △1%	294 △2%	292 △3%
化学物質の適正管理と清掃		回	2014年度 24	24	24	24
環境配慮製品販売量		台	3ヵ年平均値 54	55	55	55
地域清掃活動		回	3ヵ年平均値 45	46	46	46
資材・事務用品のグリーン購入		%	3ヵ年平均値 78	79	79	79

※購入電力のCO_2排出係数は、九州電力の平成25年度実排出係数0.613kg-CO_2/kWhで算出しています。
※3ヵ年平均値は、2012・2013・2014年度実績の平均値です。

(2) 2015年度活動計画

取り組み計画

電力の二酸化炭素排出量の削減
- 冷房温度２８℃設定
- 暖房温度の１８℃設定
- 不要・休憩時間照明の消灯
- ＯＡ機器のこまめOFF
- エアコンフィルターの定期清掃
- 断熱フィルム
- 電灯のLEDへの交換

自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減
- 急加速発進の抑制
- 冷暖房の控えめ使用（27℃）
- 買換え時はエコカーを購入する

一般廃棄物の削減
- 裏紙使用
- 両面印刷コピーの徹底
- ミスプリントを減らす
- 雑誌、カタログダンボールの再生利用への徹底
- シュレッダー廃紙のリサイクル化
- 納入業者へ段ボールの引取り依頼

産業廃棄物（廃プラ）の削減
- 委託処分廃棄物の削減
- 工事での産廃の分別徹底
- 産廃ボックスへの廃棄物の最小化

節水
- 雨水の有効利用（洗車等）
- 雨水タンクの貯水管理
- 節水トイレへの変更（組立場）

化学物質の低減
- 新工場へ塗装場を移設 化学物質の保管管理及び清掃
- 塗装場清掃徹底1回/月(年12回)

製品への環境配慮
- クーラント製品
- 業務用光触媒環境浄化装置の販売

社会貢献
- 公民館の清掃
- 周辺道路の清掃

購入資材・事務用品のグリーン購入
- 事務用品グリーン対象品の購入及びエコ率アップ
- 購入資材の環境配慮
- 省エネ性能の高い電気製品の購入
- クールビズ・ウォームビズ制服購入

8. 環境関連法規制 等の違反、訴訟の有無

環境関連法規制等の遵守状況　法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	規　制　内　容	適用される施設物品等	適用される法規制	規　制　内　容	適用される施設物品等
廃棄物処理法 （一般廃棄物）	・一般廃棄物の収集運搬業者への委託 ・契約（覚書）及び許可証写し保管 （許可期限切れ更新）	一般廃棄物(紙くず、段ボール、厨芥、包装等）	資源有効利用促進法	・別名：リサイクル法 ・使用済パソコン等のメーカー回収義務	社内パソコン
			騒音規制法	・特定施設の届出　空気圧縮機7.5ｋｗ以上。規制基準の遵守	空気圧縮機7.5ｋｗ 2台
（産業廃棄物）	・委託先許可業確認 ・収集運搬・処理業者との契約 （委託契約・産廃管理票発行・5年間保管） ・産廃保管基準、保管置場の表示 ・産業廃棄物管理票交付等状況の行政報告 ・自社による運搬時の表示・書類携行 ・多量排出業者、産廃処理計画・実施状況報告書提出、特別管理産業廃棄物管理責任者の設置	廃プラ 金属くず 廃油 廃酸 コンクリートくず	毒物及び劇物取締法	・事故時連絡 ・保管場所の表示 ・盗難、流出防止	硝酸
			労働安全衛生法	・有機溶剤の適正な管理・SDSの周知	塗料用溶剤
浄化槽法	・設置届出・浄化槽の維持管理 ・定期点検・定期清掃・定期水質検査	合併浄化槽	フロン回収・破壊法	・フロン類の適切な処理、回収・破壊の工程の確認、規制基準の遵守、引取・処理証明書交付保管	業務用空調設備 コンプレッサー
自動車リサイクル法	・使用済み車は引き取り業者に引き渡す。新車購入時にリサイクル費用を支払う	自動車			
家電リサイクル法	・家電製品の廃棄時にリサイクル料金支払い	TV、冷蔵庫、 家庭用エアコン			
小型家電リサイクル法	・使用済小型電子機器、その他の電気機械器具の再資源化促進 ・事業者の責務 ・使用済機器の分別排出.収集運搬又は再資源化を適正に処理し得る者への引渡し	家電ﾘｻｲｸﾙ法適用外の使用済小型電子機器その他の電気機械器具（通信機器、映像機器、音響機器、電動工具類等）			

環境関連法規及び条例等への違反、また訴訟等の有無について、2015年7月17日に確認した結果、法律違反等はありません。

また、地域住民からの訴訟や苦情や要望、行政からの指導などは創業以来ありません。（2015年7月17日現在）

９．代表者による全体の評価と見直し

１．環境活動の取組み結果の評価

２０１４年度環境活動では、塗装機の購入、エコカーの購入などを進めました。目標と実績では「自動車燃料の削減」を除く分野で達成できました。
年々、社員の皆さんの意識の高まりが成果に繋がっていると実感できます。今年から東京、大阪も活動に加わりましたが、塵に関しては自治体の収集制度が異なる事、ごみの量が極端に少ないことから、この取組からは外すことにしました。自動車の燃料費の削減だけを対象にすることにしました。

２．実績の評価

売り上げは昨年比２０％増で、建築の廃材も有ったもののリサイクルに回されて、リサイクル率が上がる好循環に成りました。

自動車の燃料は、エコカーも３台に増えましたが、未達成に成りました。遠方工事や営業活動の活発化も有ると推察されます。

これ以外の全てで、年間目標を達成できたことは素晴らしい成果だと思います。

３．今後の取り組み

６月末に宮崎工場が完成しました。対象範囲が広がって来ます。

その分ＥＡ・２１への取り組みも負担が増えることが予測されます。

塗装場を宮崎工場に移動し、事務所中２階に在庫棚等も設置してスペースの確保をして、本社工場の５Ｓを進め、ＥＡ・２１活動も効率よくして行きます。

至難と思われた課題もクリアーして来た社員皆さんの資質を評価し、最大の課題である自動車の燃料費削減にも取り組んで参ります。

先ず、意識改革を進める為に「燃費削減キャンペーン」を進めて行きます。

その他の今年クリアーできた課題も引き続き全員参加で取り組みます。

宜しくお願いします。

10. 環境活動の紹介

1. 環境方針の周知

2013年度より適用になった営業所にも、環境方針を掲示しました。

エコ報告会

新人研修を行いました。現場でも酸洗い液の流出の際の対応を習いました。

改善メモは、毎月一人2件提出されて、努力賞からダイヤモンド賞まで決定された後、掲示板に張り出されます。内容は、機械の改善からエコに関することまで、盛りだくさんです。

2. 環境関連法規の遵守

大震災を想定した避難訓練を行いました。

年一回の消火訓練を行いました。
消火器の使い方を習いました。

永田防災様に、火災警報器の点検と消火器の点検をしていただきました。

3. 二酸化炭素排出量の抑制

本社の組立場の電灯を蛍光灯からLEDに替えました。

営業用の社有車を、クリーンディゼル車に替えました。
燃費は　約　22ｋｍ/Ｌ

自動販売機も節電型に変更しました。

4. 資源の効果的活用の推進

ペットボトルの蓋も事務所で集めた古切手も、川内なでしこライオンズクラブへ贈呈します。
ボランティアの一環ですが、
ペットボトルの蓋は、海外の子供たちのワクチンになり、古切手は、障害者施設のリハビリ作業に使われた後、海外のコレクターへ販売されます。

ゴミもリサイクル出来るように、分別をしています。

インクジェットプリンターのカートリッジは回収ボックスで完全回収します。

手作りの雨水タンクも2機あり、毎回洗車に利用しています。

ニチバンの巻き芯を集めて、第5回ニチバンｅｃｏプロジェクトに応募して、感謝状と花の種を頂きました。

5. 化学物質の適正な管理及び清掃

塗装場はいつも清掃を行ない
チェック表に記入しています

塗装場に、排気塗装ブースを
設置しました。

6. 製品への環境配慮

6－1. 環境配慮型クーラント製品の開発・販売

マグネットコンベアーは、機械部品加工会社の機械に取り付けて、切り粉をクーラント液の中から自動的に取り出すことによって、クーラント液の寿命を延ばし、クーラント液の使用量を減らす効果があります。（廃液が減る）

６－２．除菌と消臭を同時に行う業務用光触媒環境浄化装置の販売

光触媒作用は、酸化チタンに紫外線を照射することによって起こる酸化・還元反応で、日本発のオリジナル技術です。
光触媒の酸化力はオゾン(O3)よりさらに強力で悪臭物質や有害物質を分解します。また、酸化チタンの表面のみで反応が進行するのでオゾンのように人体に影響がなく安全です。
高い耐久性と優れた脱臭、除菌効果を持つ新開発の光触媒セラミックフィルター(特許登録済 第4610135号)の活用により、従来の家庭用に使用されている光触媒フィルター型脱臭機に比べ非常に高い効果を発揮できます。

光触媒環境浄化装置を、食堂と社長室にも設置し、販売を促進しています。

7. 地域の環境保全事業への参加

駐車場・
周辺道路
の清掃

草刈りの草も集めて、牛農家に
贈呈しました。

常日頃お世話になっている三枝前自治会へゴミステーションを
製作し、据付工事まで行ない、これまで2台寄贈いたしました。
写真は今年度